

日本 NPW 学会学術学会 2022

2022 年 10 月 22 日 (土) 10 時開会

開会の挨拶 丸谷 龍思

医療法人社団 神奈川巨樹の会 みどり野リハビリテーション病院 リ
ハビリテーション科

I 部座長 川内 基裕

独立行政法人 労働者健康安全機構

関東労災病院循 心臓血管外科

①「パーキンソン病早期からのエクササイズ:ノルディック・ウォーキン
グの役割」

医療法人慶泉会 町田慶泉病院 神経内科

○ 高橋 裕秀

ノルディック・ウォーキングは、いわば「四足歩行」であり足首・膝・腰への負担が軽減し長時間「リズムック」に歩行することが可能になる。歩行時の体幹のひねり、かかと着地、つま先からの蹴り出しが自然に身につく姿勢や歩行リズムも改善するので、早期パーキンソン病に適しているエクササイズである。

②「メタボリックシンドローム、2型糖尿病を伴う下肢変形性関節症患者に対するメディカルポールウォークを取り入れた運動療法」

東都大学 幕張ヒューマンケア学部 理学療法学科

○ 横地 正裕

演者は、メタボリックシンドローム、2型糖尿病を伴う下肢変形性関節症患者に対して、「生活習慣病サポートチーム」を立ち上げ、その中でメディカルポールウォークを取り入れた運動療法介入を実施してきた。今回、その内容について紹介をさせていただく。

③「循環器疾患と運動療法 -高齢者慢性心不全に対する運動療法-
一般社団法人 巨樹の会 下関リハビリテーション病院

○林 研二、 饗場智暁、 知念可南子、 森重龍夫、小山竜請

近年、慢性心不全に対する運動療法が、運動耐用能、ADL、予後の改善等において注目されている。「心不全パンデミック」の言葉通り、当院心臓リハビリにおいても、高齢者慢性心不全患者の占める割合は高い。当院における高齢者慢性心不全患者に対する運動療法とノルディック・ウォークの歩行訓練への応用について報告する。

Ⅱ部 座長 丸谷 龍想

医療法人社団 神奈川巨樹の会 みどり野リハビリテーション病院

協賛会社の製品紹介

(株)キザキ

(株)シナノ

(株)ハタチ工業

(株)ミズノ ライフ&ヘルス事業部

(50音順)

Ⅲ部 座長 丸谷 龍思

医療法人社団 神奈川巨樹の会 みどり野リハビリテーション病院

④「水中ポール・ウォーキングの指導の実際」

(一社)全日本ノルディック・ウォーク連盟

指導部講師・水中ポールウォーキング専門講師

健康運動指導士 ○大方 孝、大方 ことみ

“IN AQUA SANA EST” 「水は健康のもと」

健康運動の基本概念としてNAPSがある。

①N…神経筋供協応運動、②A…有酸素性運動、③P…筋力アップ

(無酸素性運動)、④S…ストレッチングがあり、これらを上手く調和さ

せることが重要な点である。本プログラムでは、神経協応運動、有酸素運動、ウォーターレジスタンスエクササイズ、アクアストレッチングを中心とした中高齢者のための水中ポールエクササイズも取り入れている。

閉会の挨拶

東京大学大学院 総合文化研究科

○中澤 公孝